



2018年(平成30年) 6月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 福田 豊 児童数 484名

学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求めらる子

『かしこく』『やさしく』『たくましく』

運動会挙行への感謝

先月26日の運動会には、多数の保護者・地域の皆様に多大なご協力、ご声援、励ましをいただき、誠にありがとうございました。ひたむきに取り組む子どもたちのがんばりに、感激はひとしおです。

昨年度に引き続き、PTA、父親の会、えはらっこサポーター、第七中学校ボランティア部の皆さんにもお手伝いいただき、ありがとうございます。また、保護者の皆様には、立見をお願いし大変恐縮です。

では、運動会はいつから行われるようになったのか、調べてみました。

日本で最初に「運動会」という名前が付けられたのは、今の東京大学なのだそうです。約130年前、明治時代です。その後、日本全国の学校で運動会を行うように、最初の文部大臣が命令をしました。

しかし、学校はとても困りました。その時はまだ、ほとんどの学校に校庭がなかったのです。そこで、神社やお寺の境内を借りて、運動会をすることにしました。場所を借りるには、神社やお寺の人だけではなく、それらをお世話する地域の人(氏子や檀家)の許可をいただかなくてはなりません。

そのため、地域の方に学校の運動会に参加してもら

校長 福田 豊

うことになりました。そして、いっしょに参加してもらうために、だれでも楽しめる「パン食い競走」や「大玉ころがし」のような競技ができました。中には「ブタ追い競走」というのもあったそうです。

また、「運動会」は、赤組と白組に分かれて戦います。6年生は社会科で学習しますが、昔の「源平の戦い」では、敵と味方を区別するために、赤と白を背中に付けたことが、もともっているそうです。

そして、当時は、運動会の会場が家から遠い場合も多かったため、遠足のような面もあって、お弁当をもって来るようにもなったそうです。

さらに、70数年前の戦時中は、戦意高揚のために、バケツリレーや爆弾運びなどの競技が増えました。時代によって、内容は変わります。戦後、現在の運動会の形が定着しました。

しかし、日本の運動会のようなスポーツ大会は、外国ではとても珍しいのです。学校行事の運動会は、各教科の学習では味わえないよさがあり、この取組から、子どもたちは大きく成長します。

改めて、運動会挙行につきまして、皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

6月行事

生活指導目標 き